

！ 掃除道具が汚いと、やる気も半減！

掃除道具をキレイに

掃除をするには掃除道具が必要ですが、この掃除道具が汚かったり、使いものにならないケースがあります。

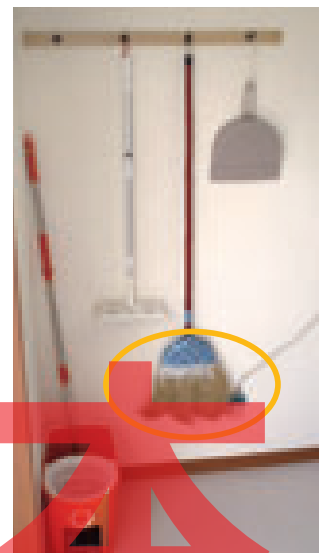
掃除道具が汚いと掃除道具を持つのも嫌になり、掃除が億劫になります。億劫で嫌だけど仕方なくやらされます。嫌々やる仕事は質も良くなりません。まずは掃除道具をきれいにしておくことで、掃除に対する意欲が変わってくるものです。

左側の写真はほうきの先が広がっています。このような状態ではきれいに床を掃くこともできませんし、時間もかかってしまいます。新しい物と交換しましょう。また、ほうきを吊り下げて先が地面につかないように保管すると、先が広がりにくくなり長く使えます。

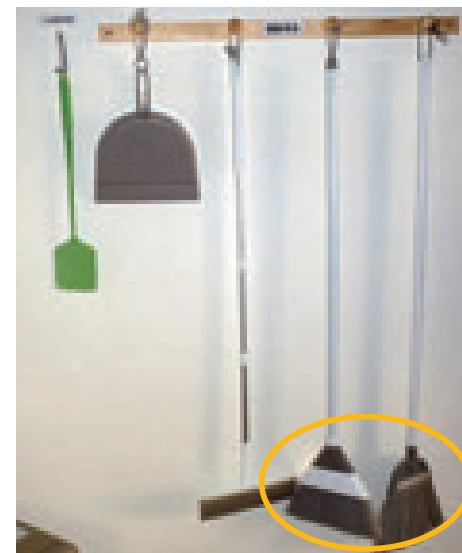
清掃のポイント

- ▶ 毎日 10 分
- ▶ 全員参加
- ▶ エリアごとの担当者を決める
- ▶ 用具は必要なものを、必要な場所に、ラベルなどでわかりやすく配置
- ▶ 用具をきれいに
- ▶ チェックが重要

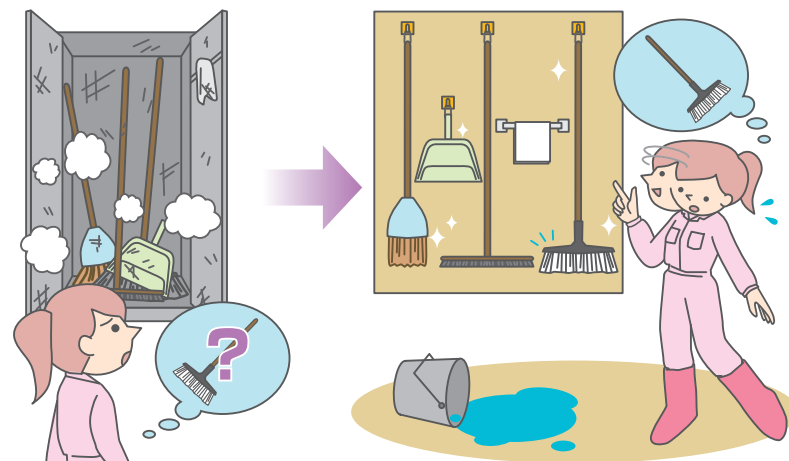
！ どんなほうきを使っていますか！



before



after



！豚舎の中で汚れやすい場所はどこですか？！

豚舎

スクレーパー式の畜舎の場合、まずはスクレーパーが正常に動いているか、毎日の点検清掃作業の中で確認しましょう。そして、異常があればすぐに改善しましょう。コーナープリーヤ、畜舎の隅に糞が溜まっていないでしょうか？糞を溜めておくと悪臭の元となるだけでなく、ハエの発生源にもなります。

これらの問題を解決するためには、まず自分の農場の中で糞が溜まりやすい場所がどこかを把握しましょう。人の目に触れにくい場所、例えば、暗い、蓋があるなどの状況では、汚れていることに気づきにくく、清掃作業自体もやりにくくなってしまいます。毎日の清掃作業を継続するには、億劫ではなく清掃しやすいと感じる状況を作ることがポイントです。



コラム 汚れやすいところ

「隅、奥、裏、陰、下、上」に汚れが潜んでいます。

普段は目につきにくいので、あえて清掃しようと思わないとなかなか手が付けられません。しかし誰も手を付けないと、汚れはたまる一方です。あえてこの部分にも目を向け、意識して清掃を行いましょう。一歩進んで汚れやすい場所をなくしていければ5S上級者です。

！飼料タンクの中も5Sの対象です！

飼料

飼料は食べ物ですから、作りたてが一番おいしいことは皆さんご存じだと思います。飼料タンクの場合であれば上部から飼料を投入し、下部に出口が付いているので、基本的には先入れ先出しの構造になっています。しかし、毎回継ぎ足しで飼料を入れていると、タンクの中で固まったり、飼料自体にカビが生えてしまうことがあります。タンクを定期的に空にして「清掃」を行うことで、常に新鮮な飼料を与えることができます。

紙袋の飼料の場合はそうはいきません。紙袋の飼料が届いたら、今ある在庫の上に新しい物に乗せていないでしょうか？これでは一番下にある在庫はいつまでたっても使われず、鮮度も味も落ちてしまいます（35ページ参照）。

